

明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 開催状況

1 会議名	令和2年度第1回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
2 開催日時	2020年（令和2年）8月31日（月曜日）13時30分～15時15分
3 開催場所	明石市役所議会棟2階 大会議室
4 出席者	分科会委員（出席者7名 欠席者1名）
5 内容	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 委員等の紹介</p> <p>4 議事</p> <p>（1）明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について</p> <p>（2）明石市の高齢者の状況等について</p> <p>（3）明石市高齢者いきいき福祉計画及び第7期介護保険事業計画の進捗について</p> <p>（4）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果概要について</p> <p>（5）在宅介護実態調査の結果概要について</p> <p>（6）認知症に関するヒアリング・アンケート調査の結果速報について</p> <p>（7）その他</p> <p>5 閉会</p>

6 配付資料等一覧

- (1) 令和2年度第1回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会次第
- (2) 資料1 明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会委員名簿
- (3) 資料2 明石市社会福祉審議会規則
- (4) 資料3 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について
- (5) 資料4 基本方針について
- (6) 資料5 明石市の高齢者の状況等について
- (7) 資料6-1 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第7期介護保険事業計画の基本的な考え方
- (8) 資料6 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第7期介護保険事業計画の実施状況
- (9) 資料7 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第7期介護保険事業計画の課題と今後の方向性について
- (10) 資料8 明石市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書
- (11) 資料9 日常生活に関する実態調査 調査票
- (12) 資料10 明石市在宅介護実態調査報告書
- (13) 資料11 在宅介護実態調査 調査票
- (14) 資料12 認知症に関するヒアリング・アンケート調査の実施について

7 会議の議事録

詳細については別紙参照

議事録 内容記録

事務局	1 開会 (13時30分) 本会議は、委員8名のうち、過半数を超える7名が出席しており、明石市社会福祉審議会規則第4条第3項の規定に定める開催要件を満たしていることを報告する。
事務局	2 委嘱状の交付
委員	3 委員等の紹介
専門分科会長	4 議 事 以降の議事は次第に沿って進行させていただく。
事務局	「(1) 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について」、「(2) 明石市の高齢者の状況等について」、資料に沿って一括説明。
専門分科会長	質問、意見等はないか。
委員	介護サービス費が一部を除いて計画よりも下回っているという説明だったが、市としてどのように分析しているのか。
事務局	本市の認定率が低い水準であることが理由だと思われる。
事務局	「(3) 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第7期介護保険事業計画の進捗について」、資料に沿って説明。
専門分科会長	質問、意見等はないか。
委員	資料6において、2020年度の数値は新型コロナウイルス感染禍における数値になっているのか、どういった問題が起きているのかを次回でもいいので教えてほしい。 また資料7のP1に記載の「住民の複雑化・複合化した支援ニーズ」が分からないので、具体的に教えてほしい。

<p>事務局</p>	<p>資料6のP8に記載の「介護療養型医療施設」の実績値が「0」だが、それで困った点などあるのか。</p> <p>新型コロナウイルス感染禍における2020年度の見込みの詳細については次回、回答させていただくが、様々な事業が中止や延期等になった。例えば、高年クラブなども当初はイベント等が中止になったが、感染対策をしっかりとしたうえで、事業を再開し始めている。また認知症に関する講演会などは、感染対策を講じて活動を再開していきたいと考えている。</p> <p>国の方針では、介護療養型医療施設は廃止で、介護医療院に転換ということになっている。市内に2か所あった介護療養型医療施設は1か所はグループホームに、もう1か所は医療機関へ転換され、現在市内にはなく、介護医療院についても未定である。現状では本市の被保険者については、他市の介護療養型医療施設や介護医療院を利用されている方もいる。第8期計画策定に向けて、介護サービスについては将来推計を見据え、委員の意見を聞きながら計画に盛り込んでいきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>資料7の5「介護サービスの充実」の項目で、地域密着型介護老人福祉施設の整備が進んでいないとあるが、土地や建物の初期投資に見合う介護報酬がないことが原因であり、これでは経営が成り立たないとどの施設も思っている。地域密着型の施設は非常に素晴らしいものだとは個人的に考えているが、報酬単価を新たに市で設定するとか、市の土地を安価で貸していただくとかしないと手を挙げることはできない。また大きな法人でないと、有資格者が少なく、辞めてしまうと法令遵守できなくなる。このままであれば、第8期計画においてもコスト面と運営面の点で厳しいので、明石市独自のモデル事業として実施することはできないのか。</p>
<p>専門分科会長</p>	<p>地域密着型の施設については、なかなか参入は難しいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、入所施設に対して、施設整備についてのアンケートを行っており、第7期計画を振り返り、要因分析をしているところである。また第8期計画を策定するにあたり、人口や認定者数、必要サービスの見込み数をたてたうえで、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム、在宅サービスの充実など、こういったサービスの充実を図って</p>

	<p>いくのかの方向性を委員の意見を聞きながら審議していきたい。また本市独自のモデル事業についても委員の意見を聞きながら検討していきたいと考えている。</p>
事務局	<p>「(4) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果概要について」、資料に沿って説明。</p>
専門分科会長	<p>質問、意見等はないか。</p>
委員	<p>調査実施期間が令和2年2月25日から3月24日までなので、コロナウイルスの影響下での回答という前提で受け止めている。</p>
委員	<p>資料8のP23に記載の「各種地域活動への参加状況」の表中、「⑧収入のある仕事への参加頻度」で週4日以上参加の割合が11.6%になっているが、前回の調査ではどれくらいだったのか。</p>
事務局	<p>前回の調査では9.3%である。また他の地域活動において、「参加していない」割合が前回の調査と比べると、今回はすべての活動でポイントが上がっている。</p>
委員	<p>高齢者は外での楽しみがない人が多い。地域で活動している私にとっては、その居場所づくりをどうやって作っていくかが難しい。特に男性が地域でいきいきと暮らせるまちづくりをもう少し考えていくことができればいいと考えている。</p>
事務局	<p>若い世代であれば、スマートフォンなど新しい方法を使うなど地域でどういう活動があるかという情報収集がしやすいが、高齢者に対しては情報の提供が難しい。高年クラブで言えば、市民に活動を広く周知してもらうために冊子を作成したり、様々なイベント会場などでPRしたりしている。また高齢者ふれあいの里についても、新たな事業の実施を検討するなどしている。高齢者の居場所についての情報発信を様々なツールを使って行っているが、なかなか難しく試行錯誤している状態である。</p>
事務局	<p>「(5) 在宅介護実態調査の結果概要について」、資料に沿って説明。</p>

専門分科会長	質問、意見等はないか。
委員	介護者が息子の場合、虐待につながるケースがある。訪問系のサービスだけでは対応しきれない。様々なサービスをミックスしながら在宅サービスを充実していけばよいと思うが、それに従事するマンパワーが不足している。小規模多機能や定期巡回は良いサービスだと思うが事業所数が不足している。事業者が参入しやすい在宅サービスの仕掛けづくりを明石市として検討していただければと思う。
委員	在宅で高齢者を介護する人の中には、ケアマネジャー等周りの人の助言を受け入れにくい、人に相談をしないなど孤立化する場面があることを覚えておいてほしい。
事務局	「(6) 認知症に関するヒアリング・アンケート調査の結果速報について」、資料に沿って説明。
専門分科会長	質問、意見等はないか。
委員	市内で認知症カフェはいくつあるのか。
事務局	本市が助成しているカフェは6か所であるが、病院や社会福祉法人など独自で実施しているところはこれ以外にもあるかもしれない。
委員	認知症カフェは、非常に有益なサービスだと思うが、明石市が補助金を出しているということを知らない団体もあると思うので、その周知をもっと検討してほしい。
事務局	今後、周知方法等については検討していく。
委員	地域で認知症に関する理解を進めたいので、講座などを平日だけでなく、若い方も参加しやすいように土日などにも開催してほしい。また、認知症チェックシートの対象年齢を下げて、なるべく早期に発見できるようにしてほしい。
委員	資料 12 のケアマネに対するアンケート結果では、かかりつけ医との連携がうまくいっているように見えるが、現場の認識としてはもう

<p>委員</p>	<p>少し厳しい印象がある。人によっては医療と介護の連携が全く取れていない場合もある。</p> <p>認知症カフェをしてみたいと思うが、場所がないので、どこか良い場所の情報があれば教えてほしい。</p>
<p>専門分科会長</p>	<p>「(3) その他」について、全体を通して、質問、意見等はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>介護認定調査時に、その対象者のことをよく知っている家族以外の近隣住民やボランティアなどが立ち会うことはできるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>必要であれば、対象者のことをよく知っている人に同席してもらったり、別の機会に話を聞いたりしている。また対象者には、必要であれば、他の人を同席してもいいと声かけはしている。</p>
<p>専門分科会長</p>	<p>今後は、いただいた意見も参考にして、当会議を進めていく。なお、今後の進め方については、事務局から説明のあったスケジュールをベースに私と事務局で調整していきたいと考えている。また委員の皆様にも意見を聞くこともあると思うが、協力をお願いしたい。</p> <p>次回の開催日程だが、10月中旬から下旬を予定している。</p> <p>4 閉 会 (15時15分)</p>